

## 健康増進部会の開催状況等

開催日	令和5年3月15(水)
構成員等	真野和夫部会長 始め15名 学識経験者、県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、健康づくりリーダー連絡協議会、食生活改善推進員協議会、健康保険組合連合会愛知連合会、全国健康保険協会愛知支部、県国民健康保険団体連合会、愛知労働局、県小中学校主任養護教諭会、県市町村保健師協議会、県保健所長会(順不同)
議 題	1 議題 (1)「健康日本21あいち新計画」の進捗について (2)「健康日本21あいち新計画」の最終評価(案)について 2 その他 「健康日本21あいち新計画」の次期計画策定スケジュールについて
検討 状況等	1 議題 (1)「健康日本21あいち新計画」の進捗について 今年度の主な取組について事務局から報告し、コロナ禍での各機関・団体での健康づくりにおける取組や県民の健康状態等についての意見交換を行った。 (主な意見) ○ 新型コロナウイルスの影響で、各事業活動に制限が随分あったが、各分野で活動され、それなりの成果が出てきているように思う。 ○ COPDとたばこの推進事業については、全国健康保険協会愛知支部の保健師と管理栄養士も研修や講習会に参加した。こういう事業を今後も推進していければと思う。 ○ 地域職域連携推進事業について、職域と地域の連携によってさらなる健康水準の向上を望んでいる。愛知労働局としても積極的に県と連携していきたい。 (2)「健康日本21あいち新計画」の最終評価(案)について 今年度を実施した「令和4年度愛知県生活習慣関連調査」の概要、及び、現行計画に係る最終評価案について説明した。 (主な意見) ○ 目標を達成できるものと、逆に達成できなくなっているものと、二極化したような印象を受ける。 ○ 栄養・食生活の分野で5割を超える指標が悪化したことについて、コロナ禍でステイホームにより食習慣が大きく変わったとも言われている。その軌道修正のため食生活改善に向け取り組んでいきたい。 ○ 社会で支える健康づくりについて、自ら参加できるような環境づくりが必要と感じる。参加型でコミュニケーションがとれるような活動を推進したい。 ○ 疾病の発症予防及び重症化予防について、年齢調整死亡率の減少を目標にしているが、年齢調整死亡率の減少は発症率と必ずしも連動せず、治療法の進歩がかなり影響している。健康増進というテーマを考えると、発症率または入院率のデータをみるとより良いのではないかと。
今後の取組 の方向性	○ 現行の健康日本21あいち新計画の最終評価をもとに、令和5年度の次期計画策定を行い、令和6年度に次期計画開始を目指す。